

NPO エコライフはままつの皆様へ

このたびはマラウイの小学校にリコーダーのご支援いただき、ありがとうございます。

私は、2013年の1月よりマラウイに青少年活動隊員として派遣されている、薄衣俊輔と申します。私の活動内容は、首都であるリロングウエの西部、ンジェワという学区内にある11の小学校を巡回し、現地の先生とともに音楽、体育、図工の指導や、放課後クラブの運営をおこなうというものです。

今回寄贈していただいたリコーダーは、現在私が巡回している4校の学校の放課後クラブにて使わせていただいております。活動の状況については、マラウイの学校の様子とともに少しではありますが写真と共に以下に報告させていただきます。

【マラウイの小学校】

マラウイの小学校は8年制で、日本とは異なり留年があります。また、8年生は卒業試験に合格しなければ、中高等学校に進学する事ができません。そのため、成績や金銭面の問題等で多くの児童が小学校卒業、もしくは中退という形で学歴を終えています。

児童数も多く、1クラスに100人以上いることがほとんどであり、私が担当する授業である Expressive Arts (音楽、体育、図工、家庭科などの要素が盛り込まれている情操教育)においても、楽器を扱う、絵を描く、工作をする、裁縫をおこなう、という実技の内容においても全体を細かく指導する事は難しく、またそもそも楽器、絵を描くための紙、色鉛筆などの道具などが学校にないため、教科書を読んで終わり(教科書も数が無いため大人数でシェアをしています)ということが多くあります。

また、規律のゆるい学校が多く、児童や教員の遅刻が当たり前となっていて、予定通りに時間割が進まない事も少なくありません。

以上のような問題が多々重なっており、学校、児童、教員それぞれが十分に「教育」に取りかかることができていません。



※青空授業の様子

【任地 ンジェワ学区】

私が活動しているンジェワ学区は、首都であるリロングウェの西の端にあり、11校の小学校を管轄しているンジェワ教師研修センターが所属先となっています。ンジェワ教師研修センターは試験のとりまとめや、教員向けのワークショップ、校長会議の場として使用されています。

私は、先に記した Expressive Arts の授業において担当教員との授業打ち合わせをおこない、2人態勢で授業をおこなっています。高学年の音楽と体育に焦点を当て、先に記した通り物資不足による授業の停滞を防ぐために、マラウイの踊りや歌を練習したり、日本の体育でおこなわれるような準備体操、馬跳びなどの運動を指導しています。

今年の始めには学区内11校を集め、ンジェワ地区の合唱コンクールを開催し児童、教員ともに音楽に楽しく、真剣に取り組む事ができました。





※合唱コンクールの様子

【リコーダーを用いた活動】

現在巡回している4つの小学校の放課後クラブにて、リコーダーの指導をおこなっています。児童たちは太鼓以外の楽器を使うのが初めてということもあり、リコーダーを見るなり興奮し、一生懸命練習しています。何より楽しく練習できている事に、私もうれしくおもっています。

現在はドレミファソラシドを正確に、きれいに奏ることを目標に練習をおこなっています。今後は、マラウイ国歌や、教科書に出てくるマラウイの歌をみんなで演奏できるようになる事を目指して練習を続け、来学期に予定している学区内での2回目の合唱コンクールにて発表できるようにしたい、と考えています。また、学校の教員達もリコーダーに興味関心を示してくれて、放課後活動を一緒に学びながら指導の手伝いをしてれています。





【終わりに】

踊りや歌は、マラウイ国民にとってなくてはならないものとなっています。普段からラジオで聴く曲もそうですが、学校で、教会で、結婚式、葬式でなど日常的に触れています。しかし、「楽器」というものにはなかなか接する機会がありません。今回 NPO エコライフはままつ様から寄贈されたリコーダーによって、普段の授業や放課後クラブでの利用を通して、児童や教員が新しい知識、経験を身につける機会を得ることができました。これからもリコーダーの指導を通じて、マラウイの子ども達に音楽の楽しさを伝えていきたいと思えます。





平成 24 年度 3 次隊

マラウイ・青少年活動

薄衣俊輔